

日頃からの安全な避難行動に活用するため  
「土砂災害ハザードマップ」及び「液状化  
ハザードマップ」を公表します。



ターゲット 11. b



ターゲット 13. 1

令和3年2月26日

郡山市建設交通部

河川課

担当：池田 剛

TEL：924-2701

SDGs ターゲット 11. b 「総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う」

SDGs ターゲット 13.1 「気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する」

## 1 郡山市土砂災害ハザードマップについて

今回の「土砂災害ハザードマップ」の改訂は、平成27年1月の土砂災害防止法の改正に基づき、福島県が平成28年から30年まで基礎調査を行い、新たに土砂災害警戒区域等に指定した332箇所を追加したものです。

改訂されたハザードマップには、危険区域の周知や警戒避難体制の整備が必要となる土砂災害警戒区域（通称イエローゾーン）が461箇所、特定開発行為に対する許可制や建築物の構造規制等が適用になる土砂災害特別警戒区域（通称レッドゾーン）414箇所が掲載されています。

※市ウェブサイト

[https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai\\_bohan\\_safecommunity/bosai/7/10329.html](https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai_bohan_safecommunity/bosai/7/10329.html)



ハザードマップを  
ダウンロードできます。

## 2 郡山市液状化ハザードマップについて

平成30年9月の北海道胆振東部地震における住宅地の深刻な液状化被害を受けて、本市においても、液状化のしやすさを判定するハザードマップを住民の皆様へ周知することを目的として、新たに作成したものです。

液状化ハザードマップの構成としては、地形や地質ごとの液状化のしやすさを示した「微地形区分図」と、過去に市の公共工事で実施した約2,300本のボーリングデータから得られた地盤情報をもとに、宅地の液状化被害の可能性を評価した「液状化被害の可能性マップ」を掲載しています。評価の結果、郡山市では、液状化被害の可能性が【比較的低い】あるいは【可能性が低い】となっております。

※市ウェブサイト

[https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai\\_bohan\\_safecommunity/bosai/7/27175.html](https://www.city.koriyama.lg.jp/bosai_bohan_safecommunity/bosai/7/27175.html)



ハザードマップを  
ダウンロードできます。